

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17004
課題名	入退院センターの看護の目的に沿った実践報告と評価・課題に関する実践報告
研究期間	倫理委員会承認日 ～2017年10月31日
研究の対象	2016年4月1日～2017年3月31日の入退院センター来室者
利用する試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 診療情報（詳細： ） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他（入退院センター来訪者数、看護者の介入率、介入内容、他部門・病棟との連携数等、業務・運営に関わる集計データ）
研究の意義、目的	<p>入退院センター看護師は、入院予定患者さんと面談を行い、必要な情報を入院病棟に伝える、入院前から退院後の生活を視野に入れ退院調整看護師と連携する、予定通り患者さんが入院できるよう抗血栓薬休薬の説明をする等の実践をしています。しかし、入退院センターでの看護そのものが新しい分野ということもあり、患者さんに必要な看護が行えているのか、さらに適切な看護を行うための課題とは何か等が不明確でした。そこで、入退院センターの看護の目的を明確化し、その目的毎に成果を評価し、今後の課題は何かを検討しようと考えました。</p>
研究の方法	<p>平成28年4月～平成29年3月までに当センターに来訪した6437件の対象者に対する当センター看護師8名の実践に関して集計した入退院センターに関するデータ（来室患者数、看護者の介入率、介入内容、他部門・病棟との連携数等）をもとに、看護の目的毎に看護の成果、目的の達成度を評価し、今後の課題を検討します。</p>
その他	特になし
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>照会先： 所属：旭川医科大学病院 入退院センター 氏名：織田裕子（研究責任者） 連絡先：0166-69-3260</p>